

サステナビリティマネジメント

社会から必要とされ続ける300年企業に向けて永続的に存続できる体制の構築を進めています。

ESG取り組み方針

当社グループは、社会の課題を解決し、必要とされ続ける300年企業を創造するというビジョンのもと、社会・環境とともに発展できる「エコシステム」を実現するため、事業活動を進める中で企業の社会的責任としてのサステナビリティを推進しています。環境・社会・ガバナンスに対する取り組みについては、以下のような方針のもと進めています。

E 環境

当社は、地球環境保全が国境を越えた課題であることを認識し、事業活動を通じて環境負荷の低減への貢献、地域社会が抱える環境課題の解決に積極的に取り組みます。

S 社会

当社は、くらしの安心・安全・快適をささえる【環境社会をリードする】企業として様々なステークホルダーの課題解決に必要なソリューションを提供し、地域社会の持続的成長に寄与します。

G ガバナンス

様々なステークホルダーと強固な相互関係を構築し、公正性・透明性の高い、かつ実効的なガバナンス体制を追求するとともに、コンプライアンス態勢のさらなる強化に取り組みます。

| SDGs重点課題 | 課題解決に向けた取り組み事例 | 関連するSDGs |
|----------------------|--|----------|
| 1 地球環境に配慮した排水浄化処理の普及 | <ul style="list-style-type: none"> ● 原油スラッジ中国処理技術特許（2024年3月） ● 原油スラッジシンガポール処理技術特許 ● 電子部品製造工場向け排水プラント設計・施工 ● 国内/海外国立大学との連携 | |
| 2 再エネの利用促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電設備のリパワリングを通じて、発電効率を高めるとともに、持続可能なエネルギー利用と気候変動対策に貢献します。 ● 自家消費型の太陽光発電設備施工による地産地消の拡大 ● JICA事業を通じてタイで再エネの拡大と国際的な気候変動対策に貢献 | |
| 3 交通インフラ長寿命化への貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ● 浜松拠点強化による拠点拡大 地域の交通インフラ整備を迅速に支援し、安全で持続可能な社会基盤の構築に貢献 ● JESアカデミーによるグループ横断的な人材交流と教育でエンジニアエコシステム形成によるシナジー効果とキャリアアップの実現 | |
| 4 従業員のQOLの向上 | <ul style="list-style-type: none"> ● 育休が取得しやすいように人事部よりサポート ● 職場環境の改善 ● 家族手当の充実 ● 従業員エンゲージメント調査の実施 ● 健康経営優良法人2025（中小規模法人部門）5年連続認定 | |
| 5 社会への影響の配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ● 当社が取り組むSDGsの実践など産学連携の寄付講座を全15回実施 ● 障がい者雇用 ● 地域社会のスポーツ振興に貢献 ● M&Aを通じて地域の祭りへ参加 ● BISHU FES.アートプロジェクト | |
| 6 環境への影響の配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ● JESグループでのISO9001/14001統合マネジメントシステム導入による環境保全活動 ● 一宮市公共施設アダプトプログラムに参加し、地域の清掃・美化活動 ● アクアリウム事業を通じて海洋生物保護や教育普及に寄与し地域文化の活性化に貢献 | |

SDGs 重点課題への取り組み

地域とともに未来を育む3社共同スポーツ協賛

当社は、持続可能な地域社会の実現に向けて「地域社会への貢献」を掲げています。その具体的な取り組みとして、2025年8月に株式会社AVANTIAおよび公益財団法人愛知県スポーツ協会と、地域密着型スポーツ振興に向けた3社間協賛契約を締結しました。この連携のもと、2025年11月には「第42回愛知県スポーツ少年団サッカー交流大会」、12月には「第48回愛知県スポーツ少年団剣道交流大会」へ共同協賛を実施。大会では記念品の寄贈だけでなく、剣道体験イベントなどの実施を通じて、多くの子どもたちにスポーツの楽しさを共有する場を提供しました。



障がい者雇用 保育園と当社従業員を対象としたイベントを開催

株式会社オザキが推進する障がい者雇用促進の一環である畑栽培に、当社の障がい者雇用で勤務する従業員も参加し、社会福祉法人瀬尻福祉会 瀬尻保育園を対象に芋ほり体験を実施しました。併せて、当社従業員およびそのご家族を対象とした農業体験も実施し、サツマイモ・枝豆・里芋の収穫を行いました。当日は多くの従業員とご家族にご参加いただき、障がい者雇用への理解を深める有意義な機会となりました。今後も当社では、地域との連携および障がい者雇用の推進に向けた取り組みを積極的に進めていきます。

